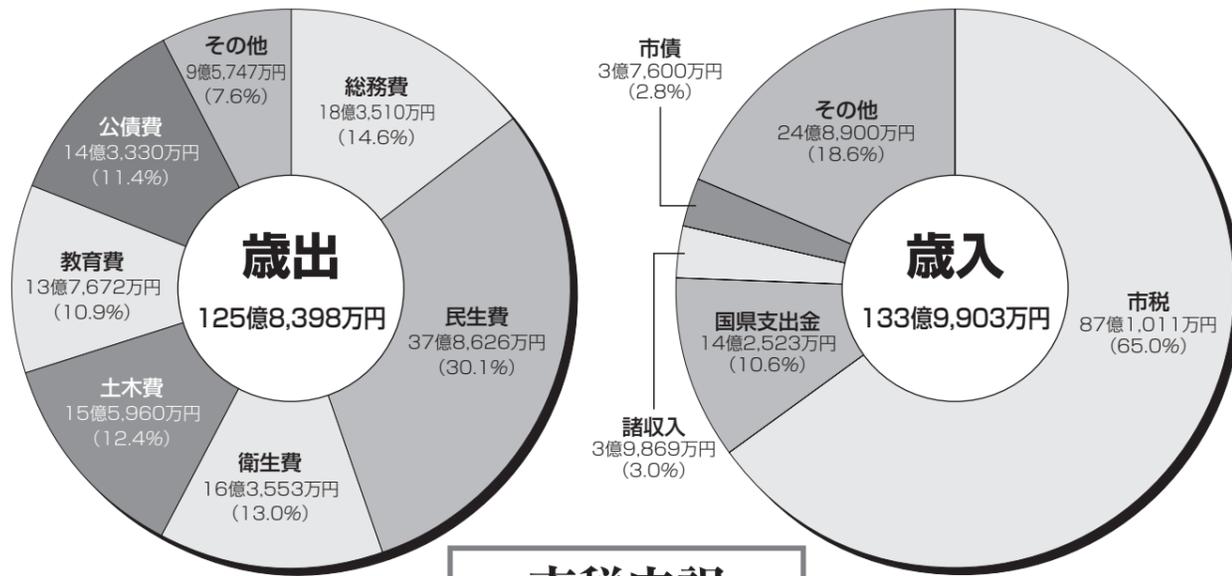
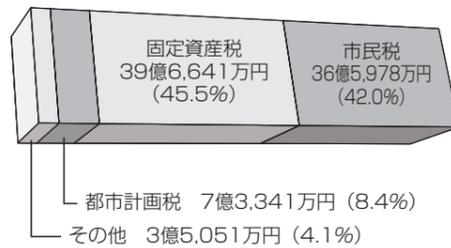


一般会計の内訳



市税内訳



歳出内訳

総務費 18億3,510万円
総務管理費 徴税費 基金費など
民生費 37億8,626万円
社会福祉費 児童福祉費 生活保護費
衛生費 16億3,553万円
保健衛生費 清掃費
土木費 15億5,960万円
土木管理費 道路橋りょう費 都市計画費 交通安全対策費など
教育費 13億7,672万円
教育総務費 小中学校費 幼稚園費 社会教育費 保健体育費
公債費 14億3,330万円
その他 9億5,747万円
議会費 労働費 農林水産業費 商工費 消防費

一般会計のあらまし

平成19年度の本市の一般会計決算状況は、歳入決算額133億9,903万円に対して、歳出決算額125億8,398万円で、差し引き8億1,505万円となりました。このうち、民生費などの財源として5,009万円を平成20年度に繰り越していますので、実質的な収入と支出の差額は7億6,496万円となっています。

この決算額を前年度と比較すると、歳入で7億3,872万円の増、歳出で7億3,515万円の増となっています。

歳入の主なものは、市税が87億1,011万円で、全体の65.0%を占め、以下、国県支出金の順となっています。

歳出の主なものは、民生費、総務費で、合わせて56億2,136万円となり、全体の44.7%を占めています。

歳入内訳

市税 87億1,011万円
市民税 36億5,978万円
固定資産税 39億6,641万円
都市計画税 7億3,341万円
その他 3億5,051万円
【軽自動車税、市たばこ税】
国県支出金 14億2,523万円
国 8億5,413万円
県 5億7,110万円
諸収入 3億9,869万円
市債 3億7,600万円
その他 24億8,900万円
地方譲与税 利子割交付金 配当割交付金 株式等譲渡所得割交付金 地方消費税交付金 自動車取得税交付金 地方特例交付金 地方交付税 交通安全対策特別交付金 分担金および負担金 使用料および手数料 財産収入 寄附金 繰入金 繰越金

たかはまの財政

平成19年度高浜市一般会計と6特別会計、2企業会計の決算は、9月招集の市議会定例会ですべて認定されましたので、下記のとおり決算内容をお知らせします。

問合せ先 市役所財務経理グループ ☎52-1111 (内線306)

皆さんのために使われたお金

1人あたり **53万3,588円**
1世帯あたり **141万6,486円**

会計別決算額

総額	
歳入	239億5,267万円
歳出	236億4,540万円

市税の住民負担

1人あたり **19万6,554円**
1世帯あたり **52万1,782円**

※一般・特別・企業会計の合計で試算した数字です。

		一般会計		特別会計	
歳入	歳入	133億9,903万円	国民健康保険事業	歳入	31億9,366万円
	歳出	125億8,398万円		歳出	31億1,880万円
企業会計			土地取得費	歳入	3億5,185万円
				歳出	3億2,039万円
水道事業	収益的	収入 7億8,739万円 支出 7億 546万円	老人保健	歳入	23億9,507万円
	資本的	収入 1億2,072万円 支出 2億8,731万円 補てん財源 1億6,659万円		歳出	23億4,291万円
病院事業	収益的	収入 6億2,677万円 支出 12億9,470万円	公共下水道事業	歳入	10億6,271万円
	資本的	収入 2,654万円 支出 6,612万円 補てん財源 3,958万円		歳出	10億4,988万円
			公共駐車場事業	歳入	3,459万円
				歳出	2,677万円
			介護保険	歳入	19億5,434万円
				歳出	18億4,908万円

収益的収入・支出……企業の経営活動に伴って発生する収入と支出。例えば水道料金収入・人件費の支出など。
資本的収入・支出……支出の効果が次年度以降におよぶもの。例えば加入者負担金・工事費の支出など。
補てん財源……企業内で留保されている資金からの補てん財源。